



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日
東

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所
 コード番号 6800 URL <https://www.yokowo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長(氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員専務 (氏名) 深川 浩一 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,569	△22.7	426	△63.7	346	△62.8	242	△65.1
2020年3月期第1四半期	14,975	13.1	1,175	86.3	932	11.6	694	20.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 318百万円(52.6%) 2020年3月期第1四半期 208百万円(△56.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.95	11.93
2020年3月期第1四半期	34.32	34.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	47,253	26,532	56.1
2020年3月期	48,134	26,532	55.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 26,499百万円 2020年3月期 26,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△13.1	1,500	△40.1	1,150	△48.0	800	△51.4	39.42
通期	56,500	△6.8	4,200	△14.6	3,850	△16.0	2,700	△21.5	133.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	20,849,878株	2020年3月期	20,849,878株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	554,546株	2020年3月期	564,946株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	20,288,382株	2020年3月期1Q	20,238,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、回路検査用コネクタセグメントが前年同期比で増収となった一方、車載通信機器セグメントが前年同期比ほぼ半減となった結果、11,569百万円（前年同期比△22.7%）となりました。営業損益につきましては、回路検査用コネクタセグメントが前年同期比で大幅に増加したものの、車載通信機器セグメントが赤字となり、426百万円の利益（前年同期比△63.7%）となりました。経常損益につきましては、円高による為替差損82百万円を計上したことなどにより、346百万円の利益（前年同期比△62.8%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常減益などにより、242百万円の利益（前年同期比△65.1%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大による新車需要の低迷及びサプライチェーンの混乱・停滞から自動車メーカーが減産を余儀なくされ、生産・販売ともに前年同期を大幅に下回りました。地域別では、中国市場の新車販売台数が前年同期比で増加に転じたものの、米国／アセアン市場／日本国内市場では、需要落ち込みと生産縮小・停止により、前年同期比で大幅な減少となりました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ／GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナの国内・海外販売及びETCアンテナなど国内向けを主とする製品の販売は、軒並み前年同期を大幅に下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は5,367百万円（前年同期比△45.6%）と、前年同期比で大幅な減収となりました。セグメント損益につきましては、減収による減益、中国／ベトナム両工場の稼働率低下及び生産回復時に備えた人員確保に伴う固定費比率の上昇などにより、942百万円の損失（前年同期は105百万円の利益）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦の影響などを背景にスマートフォン向けの需要が減少した一方で、テレワーク拡大に伴うパソコン需要増加や、外出制限・自粛に伴うインターネット利用急増によるサーバー需要増加などにより、堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの主力製品である半導体後工程検査用治具の販売は、ロジック半導体検査用ソケット・高周波検査対応ソケットの受注が大幅に増加するなか、4月にマレーシア工場の操業制限により一時的に落ち込みましたが、5月初旬の稼働許可を受けて挽回し、前年同期を上回りました。また、半導体前工程検査用治具の販売も、周辺機器を含めてワンストップソリューションでサービスを提供するターンキービジネスが順調に拡大したことなどにより、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は4,048百万円（前年同期比+36.9%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、マレーシア工場生産品の日本国内工場などでの代替生産に伴う一時的なコストアップが生じたものの、増収による増益、比較的利益率の高い製品の売上比率上昇及び生産設備の稼働率上昇などにより、867百万円の利益（前年同期比+60.0%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォンの販売が減少傾向にある一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれております。POS端末市場は、物流／製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けているほか、産業機器などの他市場も成長が期待されております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末向け販売の堅調な推移に加え、学校教育現場用モバイル端末向けなどの受注が増加した一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部のコンシューマー製品向け販売が大幅に減少したことなどにより、売上高は前年同期を若干下回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましては、ユニット製品販売が国内・海外ともに堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,153百万円（前年同期比+0.0%）となりました。セグメント損益につきましては、医療・デバイス事業における歩留の向上などがあったものの、ファインコネクタ事業における比較的利益率の高い製品の売上比率低下などにより、502百万円の利益（前年同期比△4.3%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 自 2019年4月 至 2019年6月	前四半期 自 2020年1月 至 2020年3月	当第1四半期 自 2020年4月 至 2020年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	9,864	10,056	5,367	△45.6	△46.6
回路検査用コネクタ	2,957	3,357	4,048	+36.9	+20.6
無線通信機器	2,153	2,008	2,153	+0.0	+7.2
合計	14,975	15,423	11,569	△22.7	△25.0

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金減少1,698百万円、売上債権減少420百万円、たな卸資産増加570百万円、有形固定資産増加424百万円などにより、47,253百万円（前連結会計年度末比880百万円の減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務減少621百万円などにより、20,721百万円（前連結会計年度末比881百万円の減少）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益242百万円の計上、為替換算調整勘定減少48百万円、その他有価証券評価差額金増加130百万円、配当金の支払324百万円などにより、26,532百万円（前連結会計年度末比0百万円の増加）となりました。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は56.1%（前連結会計年度末比+1.0ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 第2四半期連結累計期間(上期)

売上高につきましては、回路検査用コネクタセグメントが当初想定を下回る見込みですが、車載通信機器及び無線通信機器の両セグメントが当初想定を上回る見込みであることから、下表のとおり上方修正いたします。

営業利益につきましては、原材料価格の上昇により回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントで利益率低下が見込まれる一方で、車載通信機器セグメントの増収及び固定費圧縮による損益改善などを勘案し、下表のとおり上方修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初想定通り為替差損350百万円を見込みつつ、下表のとおり上方修正いたします。

② 通期

売上高につきましては、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが当初想定を下回る見込みですが、車載通信機器セグメントが当初想定を上回る見込みであることから、下表のとおり上方修正いたします。

各利益につきましては、上期における増益見込み及び下期における事業ミックス変化に伴う利益率の低下見込みなどから、下表のとおり上方修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年8月以降当期末まで1米ドル=105円としております。

第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円、%)

	当初予想 (2020年5月14日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	25,000	26,000	+1,000	+4.0
車載通信機器	13,000	14,500	+1,500	+11.5
回路検査用コネクタ	7,900	7,200	△700	△8.9
無線通信機器	4,100	4,300	+200	+4.9
営業利益	1,000	1,500	+500	+50.0
経常利益	650	1,150	+500	+76.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	450	800	+350	+77.8

通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円、%)

	当初予想 (2020年5月14日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	55,000	56,500	+1,500	+2.7
車載通信機器	30,000	33,000	+3,000	+10.0
回路検査用コネクタ	16,000	14,700	△1,300	△8.1
無線通信機器	9,000	8,800	△200	△2.2
営業利益	4,000	4,200	+200	+5.0
経常利益	3,650	3,850	+200	+5.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,600	2,700	+100	+3.8

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,352	10,653
受取手形及び売掛金	10,774	10,354
商品及び製品	4,662	4,722
仕掛品	402	419
原材料及び貯蔵品	3,616	4,110
その他	1,456	1,476
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	33,262	31,733
固定資産		
有形固定資産	11,296	11,721
無形固定資産		
その他	900	937
無形固定資産合計	900	937
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	81	94
その他	2,593	2,766
投資その他の資産合計	2,675	2,861
固定資産合計	14,872	15,519
資産合計	48,134	47,253
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,428	5,806
短期借入金	6,489	6,466
未払法人税等	770	239
賞与引当金	600	386
その他	3,291	3,833
流動負債合計	17,580	16,733
固定負債		
長期借入金	3,400	3,400
退職給付に係る負債	183	191
その他	438	396
固定負債合計	4,021	3,987
負債合計	21,602	20,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996	3,996
資本剰余金	3,981	3,981
利益剰余金	19,045	18,957
自己株式	△664	△651
株主資本合計	26,359	26,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	215
為替換算調整勘定	△64	△112
退職給付に係る調整累計額	124	112
その他の包括利益累計額合計	144	215
新株予約権	3	2
非支配株主持分	24	29
純資産合計	26,532	26,532
負債純資産合計	48,134	47,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,975	11,569
売上原価	11,786	9,412
売上総利益	3,188	2,156
販売費及び一般管理費	2,013	1,729
営業利益	1,175	426
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	18	19
その他	12	16
営業外収益合計	35	39
営業外費用		
支払利息	29	21
持分法による投資損失	—	9
為替差損	242	82
その他	6	5
営業外費用合計	278	119
経常利益	932	346
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	0	4
製品保証費用	14	—
特別損失合計	15	4
税金等調整前四半期純利益	917	347
法人税、住民税及び事業税	190	63
法人税等調整額	29	36
法人税等合計	219	99
四半期純利益	697	248
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	694	242

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	697	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	130
為替換算調整勘定	△447	△48
退職給付に係る調整額	△9	△11
その他の包括利益合計	△488	70
四半期包括利益	208	318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206	313
非支配株主に係る四半期包括利益	2	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,864	2,957	2,153	14,975	—	14,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	41	—	41	△41	—
計	9,864	2,998	2,153	15,016	△41	14,975
セグメント利益	105	542	525	1,173	2	1,175

(注) 1 セグメント利益のその他2百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,367	4,048	2,153	11,569	—	11,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,367	4,048	2,153	11,569	—	11,569
セグメント利益又は損失(△)	△942	867	502	427	△0	426

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)のその他△0百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。